

提出日：西暦 2013 年 11 月 28 日

社外研修報告書

弁護士法人 名古屋総合法律事務所

報告者：堀口 佑美

研修テーマ	10日間で短編劇を作る！
主催者	日本演出者協会東海ブロック
受講場所	名古屋市 北文化小劇場
受講期間	2013/11/27(水)19:00 ~ 21:00
研修内容	短編劇の発表会
研修の成果及び感想	<p>今回の講座の集大成である発表会の日です。</p> <p>「10日間で」という研修テーマでしたが、私の所属するグループに割り振られた劇は難しく、とても10日では短編劇にすることはできませんでした。</p> <p>そのため、週に1～3回のペースで自主練習を行うこととなりました。19時～21時まで、仕事を中断して練習に向かい、また仕事に戻って終電で帰るという生活はとてもハードで、体調を崩すこともありました。</p> <p>しかし、次第に劇が出来上がってくると、「このセリフはこうした方がいい。」「この部分はもっとテンポよく。」などと皆で意見を出し合い、劇をより良くしていくことが楽しくなってきました。</p> <p>練習をビデオに撮り、改善点等を探り、意見を言い合うという作業を繰り返しました。</p> <p>最初はテンポも遅く、音の羅列にしか聞こえなかった曲の練習も、何度も練習を重ねるにつれて、どんどん早く正確に歌えるようになりました。</p> <p>共演者とも、最初はぎこちなく、途中は練習内容等について厳しい意見が出ることもありましたが、次第に打ち解けるようになりました。</p> <p>発表会の1週間前の練習では、半月ぶりに練習を見た講師の先生から、「みんなどうしたの？(上手くなって)感動した！」との言葉をもらい、少</p>

し自信ができました。

そして、11月27日、発表会の日がやってきました。

まだ若干曲に不安はありましたが、今さらどうしようもないので、「とにかく大声で歌って、楽しもう。」と共演者と言い合い、本番へ。

最初は非常に緊張しましたが、練習の成果か、セリフを忘れることは一度もなく、有り難いことに観客席から度々笑いも起きていました。

懸念の曲の出来具合も、多少飛ばした部分はありましたが、勢いで歌い切り、最後は大きな拍手をいただきました。

弊所の所長夫妻と事務員3名が発表会を観に来てくれ、「面白かった。」と言ってもらうことが出来ました。

最初は演劇講座を受講することに懐疑的でしたが、練習風景をビデオで撮ることで、自分が思っている以上に、言葉を正確に伝えることは難しいことを学びましたし、何を考えるかと同じくらい、その考えを人に伝えるということも重要であるという認識を持つようになりました。

また、付随的ではありますが、様々な職業、立場の人と知り合い、話し合う機会を持つことで視野が広がったこと、一つの目標に向かって協力することで、しがらみのない人間関係が新たに構築されたことも、この講座で得た貴重な糧です。

本講座で学んだことを、今後の仕事にも生かしていければと考えています。

最後になりましたが、本講座で出会い、様々なことを教えていただいた講師、共演者及び劇場スタッフの方々、演劇を学ぶ機会を与えてくれた所長、頻りに自主練習に向かう私を気持ちよく送り出してくれた兄弁・事務員さんたちに、心から感謝を申し上げます。

ありがとうございました。

受講者

堀口佑美